

議案番号	105	令和7年度大山町一般会計補正予算(第5号)								
令和7年度大山町一般会計補正予算（第5号）の概要について										
今回補正額		73,321 千円								
(財源内訳)	<table><tr><td>国・県支出金</td><td>22,971 千円</td></tr><tr><td>地方債</td><td>△ 3,200 千円</td></tr><tr><td>その他</td><td>8,224 千円</td></tr><tr><td>一般財源</td><td>45,326 千円</td></tr></table>		国・県支出金	22,971 千円	地方債	△ 3,200 千円	その他	8,224 千円	一般財源	45,326 千円
国・県支出金	22,971 千円									
地方債	△ 3,200 千円									
その他	8,224 千円									
一般財源	45,326 千円									
補正後の額		12,870,308 千円								
(参考)										
昨年度9月末現在予算額		12,133,723 千円								
(前年度比		736,585 千円の増)								
補正計上された主な事業等										
● 学校管理費(事務局費) 11,152千円(要求課 幼児・学校教育課)										
令和8年度に実施される県事業、県道大山口停車場線外(末長工区)改良事業の関係で、大山西小学校県道側の立木伐採及び工作物の撤去の必要がある。併せて校舎側の立木についても伐採し、駐車場の舗装工事を行う予定としていることから、これに係る経費を計上する。										
●新基本計画実装・農業構造転換支援事業 7,633千円(要求課 農林水産課)										
JA鳥取西部の大豆乾燥調製施設の老朽化で処理が追い付かないため、乾燥機3基の増設、色彩選別機2基の導入により、処理の効率化を図る。										
当初予算において産地生産基盤パワーアップ事業で実施するよう計上していたが、事業要綱改正により大豆が支援対象品目から外れたため、新設の新基本計画実装・農業構造転換支援事業に組替えて実施するもの。										
●在宅重度障がい児者等支援体制強化事業 704千円(要求課 総合福祉課)										
在宅で生活をする医療的ケアを要する重度障がい者や強度行動障がい者を支援する事業所(居宅介護・重度訪問介護・行動援護)を支援し、事業者の負担の軽減を図ることで、在宅における支援体制を強化するために補助金を交付する。(県費1/2)										
●名和クリーンセンター修繕工事 7,572千円(要求課 住民課)										
今後も安全で安定した焼却業務を継続するため、名和クリーンセンターの不具合箇所や、経年劣化・摩耗した設備を修繕するための費用を計上する。										